

この度の活用基本計画案は市民の要望を取り入れ、具体的に良く考えられたものであると思います。いくつか質問をさせていただきます。又、今後参考となることについての資料を別に用意いたしました。

施設機能の検討

p.16

- 大ホールの一部を可動式、もしくは取り外し可能な席に災害時に物資の一部保管ようにとあるが、3階部分のエレベーター停止時にはどうするのか？
- 可動式の場合はオーケストラピットとしても使える様に舞台下に収納出来るものなのか？
(舞台収納の場合ステージが高くなり過ぎないように / 福祉文化ホールは舞台下に機械が入っている為、舞台が高くなっている。高すぎて前列の人は見上げる為、苦痛になっている)

P.17

- 多様な公演に対応出来るバランスの取れた・・・。
他市の大ホールで完成後、音響が悪かったため反響板を全面的にやり直した例がある。設計の段階からは非音響の専門家を加える必要がある。
(反響板については平面の場合、音が上に向く傾向があるので考慮が必要。)
- 遮音や振動に配慮したホール・・・。
同じ3階(P.45)に多目的ホールが接しているので十分な配慮が必要。
(クリエイトセンターの場合、多目的ホールは音が筒抜けなのと、近隣の住民からの苦情があり音出し貸出し禁止になっている為、市民は不便をしている。稼働率も上がらず、早期の改善が必要。)

P.20 楽屋・練習室

- 楽屋ゾーン、舞台裏に配置・・・。
一部の楽屋には、多少の音出しが出来るように・・・とあるが舞台裏楽屋は、全室音出しが可能な防音室が必要。
- 公演で使用しない場合のリハ室、楽屋等の貸し出しは、稼働率UPし、生きたホールの使い方である。防音室が必要。
- (想定する諸室イメージ)
小楽屋4(舞台裏) 中楽屋2() 大楽屋1() の配置図は？

P.21 搬入・搬出

- 多目的ホールにも搬入できる導線なのか？
- 大ホール出演者(楽屋口)のエレベーターの大きさは？
(神戸国際ホールは小サイズが一基の為、出演者は列を作り混雑している)

P.22 多目的ホール

- 床は絨毯(披露宴会場)にしてしまうと吸音されてしまい、多目的には向かない。
- 多目的ホールへの搬入、搬出のエレベーターのサイズは？
(福祉文化ホールのエレベーターは、グランドピアノが入らず、人力で5階まで運んだ。又チェンバロやフォルテピアノ等を搬入するには奥行3mあると良い)

P.23 音楽や講演等・・・。くれぐれも遮音、防音に注意。

小ホールの必要性。

- 新ホール完成後、福祉文化会館取り壊しに伴い、文化ホール(347席)が無くなるにあたり将来的に利用率

の高い小ホールを、阪急東口を含めた都市計画の中に入れておく必要があります。

- 京都バロックザールや兵庫県立芸術会館小ホールに匹敵する小ホールを望みます。

P.24

子育て支援・その他

- 新エリアから放射状に広がる公民館&コミュニティセンターとの連携の強化について。
児童虐待など悲惨な事件が起きているが、公民館での活動（夏祭りや文化祭）等が地域の交流を生み、活発化する事は、少しでもこうした事件を減らす事につながっていくと思います。地域の相談支援拠点や他の福祉施策など、新施設と公民館の連携を深められたらと思います。
- 現在、32 の公民館がある中でコミュニティセンターはまだわずかです。
自由に使えるコミュニティセンターに移行してみてもいいかがでしょうか。

施策推進委員 飯嶋 豊